



問い合わせ 事業調整室  
☎229-3134 FAX229-3345

香良洲地域は約2,000世帯だから、全部の世帯が車で避難できるんだよ。この他に防災倉庫や上・下水道、トイレなども整備して、普段は海が見える公園にしようという計画なんだ。



香良洲高台防災公園完成イメージ

**でも、これだけ大きい高台だと、ものすごい量の土がいるよね？**

うん。10トンダンプにして約7万8,000台分の土が必要なんだよ。

**そんなにいるんだ。じゃあその土はどうするの？**

河川のしゅんせつや道路の建設、治山や砂防などの公共事業から発生する良質な土砂を活用することにしたんだ。



**なるほど。そういうことなんだね。**

それとこれまでは、その土砂を処理するための土地を用意するのは簡単じゃなかったんで、この市有地を国や三重県に土砂の持込地として提供し、有効活用することにしたんだよ。

**とてもいいアイデアだね。**

高台を造成するための費用を国や三重県にも負担してもらってコストを下げられるから、まさに一石二鳥の計画なんだ。

**そんなメリットもあるんだね。それでこの高台はいつ頃できるの？**

すでに国や三重県とは、2021(平成33)年度の完成を目指して具体的に話が進んでいて、高台の造成は国土交通省と三重県、津市の3者で、公園の整備は津市が行う計画なんだ。

**少しでも早く避難場所として使いたいね。**

とても大きな高台だから、全体が完成するまで少し時間がかかるんだけど、完成予定の2021(平成33)年度より早い4年後の2017(平成29)年春には、避難場所として利用できる予定なんだよ。

**完成すると公園もできるし、楽しみだね。**

そうだね。この高台は市民の皆さんのアイデアから生まれた全国的にもほとんど例のない構想なんだ。

これからも市民の皆さんと一緒に災害に強いまちづくりに取り組んでいかなきゃいけないね。



んでいる約5,000人全員の安全のためにも、一刻も早く避難場所を増やすことが必要なんだよ。

**それが高台なんだね。でも、どうしてこの高台を造ろうと考えたの？**

香良洲地域内からの脱出が困難な人たちが避難できる高台を造ってほしい、っていう話からあったんだ。

**そうなんだ。**

それに自治会連合会香良洲支部からも「高台の造成」の要望書が提出されていたんだ。香良洲地区地域審議会からも「町内の工業専用地域を利活用し、緊急時に要援護者の避難場所となる高台の造成を」と具体的な意見があったんだ。

**地元からの強い要望があったんだね。**

そこで、香良洲地域の北部にある約11.4ヘクタールの市有地に高台を造って、防災公園として整備することにしたんだ。

**広さはどのくらいあるの？**

津球場約3個分の広さで、車を約2,000台駐車できるんだ。